

# Aikou

2021年7月園だより

愛香南部幼稚園

〒921-8035

金沢市泉が丘 1-16-8

Tel 241-3860

## 「生きる意味と喜びとは」

園長 土肥 聡

「そうだ、うれしいんだ、生きるよろこび、たとえ胸の傷がいたんでも、なんのために生まれて、なにをして生きるのか、こたえられないなんて、そんなのはいやだ」

これは「アンパンマンのマーチ」の歌詞の一節です。これを作られた“やなせたかし”さんは、この歌詞にどんな思いを込めておられたのでしょうか。おそらく、幼い子どもたちが「なんのために生まれて、なにをして生きる」かを考えたり、感じることはないでしょう。むしろ大人である私たちが、将来子どもが生きる目的や喜びを見出せるように養い育ていく責任があるのではないのでしょうか。

先日、教師たちと共に「自己肯定」について学ぶときがありました。子どもたちの心に、人からも、また目に見えない神さまからも、生かされ愛されて、大切にされている存在であることを刻みつけたいと思います。そのままの自分を受け入れることができれば、人をも受け入れることができるでしょう。

## 「情緒的利用可能性」

アドバイザー 横江 栄子

毎月読んでいる保育誌の中に、あまり聞きなれない「情緒的利用可能性」という表現を見つけました。情緒的な意味での利用可能性（頼りにできる、あてにできるといった感覚）をもった存在が子どもたちにとって大切であるということを伝えています。愛着という視点で保育を評価するときこの視点が一番重要になると伝えています。保育者が子どもにとって「情緒的利用可能性」となっているかという視点が重要になるとのことです。

愛香南部幼稚園の教師会でも一度話し合うことも大切かなと思っています。保育者が子ども一人ひとりのニーズを大切にしながら、子ども同士の関係がうまくいくように集団の動きに心をくたくことによって、子どもたちが安心して過ごす環境を整えることが出来ます。改めて子どもたちの遊びの中での人間関係を大切にしたいと思います。



# くらすすけっち



## すみれ組

6月から3名になりお友達が増えてちょっぴり嬉しくなりましたすみれ組です！上のクラスと近隣の公園によくお散歩に出かけ、手をつないで並んで歩くこともようやく慣れて遠い所まで往復ができました。暑い日には裸足で園庭に出て、水を流して泥んこの土で「ねえ、せんせいおだんごつくって！」と、固いおだんごを手にとりあげると大喜び！サラサラの土ではできない砂遊びです。湿った土を掘りおこすことも覚え、型抜き遊びが上手になりました。これから真夏の暑い時期を過ごしますが、1人ひとりの成長を見守りゆっくと過ごしていきたいです。

土肥 ミチ子



## たんぽぽ組

6月も天気がよく、たくさん外で遊ぶことが出来ました。裸足で出る日も多く、子どもたちから『きょうも、はだしでおそとにしよう！』と楽しみにしているようです。砂場にみんなで山を作ってトンネルを掘って水を流して遊びました。『3・2・1 スタート！』とカウントダウンで水を流れていく様子を追いかけています。

なかなか雨が降らず、今月の歌「♪ながぐつマーチ」も歌う回数が少なく、雨が降ると登園してすぐに『ながぐつマーチ、うたえるね』と声が上がります。子どもたちからの発信にいつも驚かされます。歌うことが大好きな子どもたち。これからもたくさんの歌を歌っていききたいと思います。

氣谷 彩子



## ばら組

なかなか雨が降らず、思いがけず公園巡りの日々です。ある日はゆり組さんと、また別の日にはたんぽぽ組すみれ組とお出かけ♪遠い公園に連れて行ってもらったり、自分たちが下のクラスの子をリードしたり…ちょっと疲れても「ばらぐみさんだからだいじょうぶ！」と頼もしい姿も見せてくれるようになりました。

お兄さんお姉さんのお手本はゆり組さんです。ゆり組さんが作ったゲームセンターやお化けやしきにお邪魔してから、憧れがより強くなったようです。一緒に遊べることやお散歩に出かけることを伝えると「やったー」と大喜び！カードめくりのゲームでは惜しくも負けてしまいました。特訓して次は勝つぞ！とリベンジに燃えています。

北村 愛実



## ゆり組

ばら組のモグラたたきゲームに刺激を受け、ゆり組をゲームセンターにしようと始めました。

カーレース、射的、カエルと遊ぶ体験、キャンディー探しと盛りだくさんです。9人で役割分担しても一人の割り当てはとて多くてみんな大変です。でも、すみれ、たんぽぽ、ばら組のおともだちに喜んでもらおうと意見を出し合いオープンすることが出来ました。とても大変だったけれど終わった後のみんなはひと回り大きくなった姿でした。

年長組になった喜びから遊びを通して「年長だからできる！」という自信と自覚を感じています。6月は時計展への出展やアスレバルの撮影など年長組だけの取り組みも各々が自分の力を表現しながら楽しむことが出来ました。7月の日お楽しみ会や夏の集いも楽しみにしています。

富樫 立子

